

室内靴市場に対する新たな価値の提案を目指す！

会社名 日本ケミフェルト株式会社
 所在地 香川県仲多度郡多度津町京町2番12号
 従業員 8名
 資本金 1,000万円
 売上高 5,500万円(2021年度)
 業種 ラバー複合素材「ケミフェルト」を用いた製品の製造販売



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- インソール技術を活用した新製品の提案に向け、「事業戦略、事業計画が明確になっている。」「知財戦略が検討され、知財ミックスで出願がされている。」「ブランド戦略が検討され、知名度の向上、販路開拓がなされ、一定の顧客層を捕まえている。」「ルームシューズ事業の体制整備がされており、知財管理もされている。」

支援を受けてできるようになったこと

After

- 各戦略の形成と知財権出願(意匠及び商標)を実現させた。
- 知名度の向上、販路開拓、顧客の獲得は今後の活動に負うこと大であるが、方針は明確であるので、自信を持って進めていくことができる。
- クラウドファンディング「マクアケ」での良好な市場反応を踏まえ事業を前進。

今後の事業展開の展望

Future

- 戦略を基軸にして、ブランド、認知度共に高めていく。
- 製品開発を一旦終え、今後は販売強化につながるプロモーション実務、契約実務については引き続き検討を重ねていく。事業の好循環を目指す。
- 体制強化については着実な取組が求められる。

重点支援を受けた事業や商材



【出典】日本ケミフェルト株式会社ホームページ
<http://chemifelt.jp/>

自社開発した新素材「ケミフェルト」のクッション性、通気性、グリップ力と軽量且つ環境に優しい特性から、靴メーカーのインソール、作業用長靴やテーマパークのキャスト用ブーツのインソールとして採用されてきた。他方、下請け依存からの脱却を経営課題に掲げ、新製品の開発についても注力してきた。

オリジナル商品の開発、メーカーとしての認知度の向上などを進めてきた経緯もあり、新たな価値提案に取り組みたいと考えていた。「ルームシューズ」(支援を経て「インドアライフシューズ」と呼称、意匠、商標出願も実施)市場を開拓するべく重点支援を活用することを決断。



重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
戦略性のある事業戦略、事業計画の策定が必要	ルームシューズ市場には、多数のメーカーがひしめいている。戦略性のある事業戦略、事業計画の策定が必要となる。
知財戦略が作られていない	ルームシューズだけでなく、素材とフットベッド技術に関する知財戦略をもって自社のポジションを固めていく必要がある。他社の知財情報を分析して侵害リスクの回避、優位性のための調査ならびに出願・権利化を進めていく必要がある。
ブランド戦略の策定が必要	商品やメーカー、ブランドとしての知名度を高めることが必要。高価格帯をターゲットとする顧客層を開拓・獲得が重要である。
中長期視点で事業体制構築を進めることが必要	ルームシューズ事業の立上げと継続には、社内体制の組み直しと協力パートナーの選定が必要。市場情報を分析していく社内でのしくみづくり、知的財産管理の体制強化が望まれる。



重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
事業戦略、事業計画の確立	<ul style="list-style-type: none"> 「インドアシューズ」の開発を終了させ、自社本位で事業マネジメントができるようになった(戦略骨子を確保)。 既存競合商品との差異化が明確にでき、屋内履き市場をターゲットに「インドアライフシューズ」の提案へと接続。 ターゲティング、ペルソナ、ブランドアイデンティティが作られた(指針であると同時にPRメッセージの土台でもある)。 マーケティングについて深掘りの議論ができ、空白市場での旗揚げ、を意識して事業化の具体化を図った。 	ブランド専門家
知財戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> 製品開発の終了とブランドネームの決定に合わせて、商標出願、意匠出願を実施。ブランド管理やノウハウ管理の徹底を図る。また、新たな知財創出に高い意識を獲得。 ネーミングの方法、出願には作り手の目線だけでなく買手の目線が有効・必要なことを理解。 	ブランド専門家 弁理士
ブランディングに対する理解向上と活動の具体化	<ul style="list-style-type: none"> 顧客目線のブランディングの重要性への理解が進み、販売に向けたシナリオ構築が進められた。また、事業全体の採算性に対する意識や着眼するべき指標を明確にできた。 	ブランド専門家
社内体制の組み直しと協力パートナーの選定の具体化	<ul style="list-style-type: none"> 従前の製造面のパートナーシップを確保しつつ、販売面のパートナーシップの強化に主体的に着手するに至った。 	ブランド専門家

支援チーム紹介

リーダー専門家:ブランド専門家 武川 憲

活用専門家:弁理士

知財総合支援窓口担当者:香川県知財総合支援窓口 辰野 勇

PO(プログラムオフィサー):中 隆廣